

学校推薦型選抜（公募）Ⅱ期 国語「基礎学力調査」

【一】 次の文章を読んで、後の問（問一～六）に答えなさい。

子ども時代に「原っぱ」での遊びを体験した人々の記憶は強烈でしかも印象的なものが多い。たとえば、作家、奥野健男は、東京のような大都会にも戦前には、地方に負けない自然との連帯と地縁が存在し、自己形成空間としての原風景を育成する「原っぱ」という環境があったことを次のようにジューツカイ^(ア)している。すなわち、「こういう山の手の不安定な界限でも子どもは学校とは違う世界、原っぱ^(イ)を持っていた。……そこは学校の成績や家の貧富の差などにかかわりのない子どもたちの別世界、自己形成空間であり、その支配者は腕力の強い、べいごまもめんこもうまい餓鬼大将であった。ぼくたち中流階級の子は⁽¹⁾ A その世界に入り、みそつかすとして辛うじて生存を許されていたようだった。しかしこの原っぱ^(イ)こそ山の手の子どもたちの故郷であり、原風景^(イ)であった。」（奥野健男『増補 文学における原風景』集英社、一九八八年、二九―三〇頁）、と。

子どもたちからみると、「原っぱ」とは、三次元から成る単なる B 空間ではない。それは、荘漠と拡がる何もない空間―意味の不在な（空白の）空間―を、子どもたちが全身で遊ぶことによって意味のある場所へとつくり変え、自分たちのものにしていくところなのである。しかも、（中略）そこには必ず空間への意味づけを協同して行う大勢の仲間たち―家族集団や学校集団とは独立した異年齢の仲間集団―と、それをとりまとめるガキ大将が存在した。ガキ大将に率いられた、近隣社会から成る異年齢仲間集団こそ、「原っぱ」という遊び空間の主役たちに相応しい。それは、まさしく地域共同体のヒナカタ⁽¹⁾

であった。

これに対して、「道路」とは、多くの人々が都市部に住むようになった頃の子どもたちの代表的な遊び場であり、それは地域共同体の空間とは連続していなかった。空間は次第に C に分化されてきており、人々の生活の場からも生産の場からも部分的に隔絶されていた。また、道路は、家と家とを隔て、一つの仲間集団と別の仲間集団とを隔てるシヨウチヨウ的空間でもあった。ここでは、時間的にも空間的にも社会的に、遊びと遊びでないこととの境界として存在しており、この境界としての時空を表象したものが「道路」である。

「原っぱ」が農村部における仲間集団の「たまり場」であったとすれば、「道路」もまた、小規模ながら都市部における仲間集団の「たまり場」であった。なかでも、裏通りの路地は住居に隣接した屋外空間として多様な D を担っていた。そこは、あるときは子どもたちにとって住まいの延長であるかのように、平気で座り込んだり、寝転んだり、ままごと遊びを行ったりする場所であるかと思えば、隠れん坊、鬼ごっこ、かんけり、石けり、なわとび、ボール遊びなど活発な外遊びの場所でもあった。さらに、都市部の子どもたちの生活空間である路地裏には、駄菓子屋と貸本屋が数多くあり、放課後、そこはいつも子どもたちで溢れていた。駄菓子屋の店先は、群れ遊ぶ子どもたちのコミュニケーションの場(サロン)であるとともに、メンコやビー玉などの遊び道具を調達するルートであり、貸本屋は漫画のキョウキユウ源であった。⁽¹⁴⁾

(14) 中井孝章『子ども居場所と多世代交流空間』より。文中省略あり。

〔問一〕 傍線——部(ア)～(エ)にあてはまる漢字を含む熟語を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| (ア) | ジユツカイ | ① | 位階 | ② | 懐古 | ③ | 解任 | ④ | 介入 | ⑤ | 受戒 |
| (イ) | ヒナガタ | ① | 干潟 | ② | 破片 | ③ | 肩書 | ④ | 味方 | ⑤ | 類型 |
| (ウ) | シヨウチヨウ | ① | 追徴 | ② | 眺望 | ③ | 兆候 | ④ | 省庁 | ⑤ | 懲罰 |
| (エ) | キヨウキユウ | ① | 協賛 | ② | 享受 | ③ | 偏狹 | ④ | 試供 | ⑤ | 共益 |

〔問二〕 空欄 A 〓 D に入るもつとも適切な言葉を、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選

びなさい。

- | | | | | | | | | | | |
|---|---|------|---|--------|---|------|---|------|---|------|
| A | ① | おずおず | ② | ひょうひょう | ③ | あくせく | ④ | ほのぼの | ⑤ | わなわな |
| B | ① | 立体 | ② | 自然 | ③ | 均質 | ④ | 人工 | ⑤ | 仮想 |
| C | ① | 一元的 | ② | 主体的 | ③ | 機能的 | ④ | 科学的 | ⑤ | 趣味的 |
| D | ① | 未来 | ② | 役割 | ③ | 重荷 | ④ | 業務 | ⑤ | 片棒 |

〔問三〕

傍線——部(1)「子どもたちの故郷であり、原風景であった」の言い換えとしてもっとも適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選びなさい。

① 子どもたちのいわば原点であり、人生のルーツであった。

② 子どもたちにとって生まれ育った場所であり、唯一の遊び場であった。

③ 子どもたちがいずれ必ず帰る場所であり、原初の風景であった。

④ 子どもたちの人生の出発点であり、自然豊かな草原であった。

⑤ 子どもたちが都市に来る前に住んでいた地方であり、心の奥底にある光景であった。

〔問四〕

傍線——部(2)「それ」が指すものとしてもっとも適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

① 山の手

② 何も無い空間

③ 意味のある場所

④ 異年齢仲間集団

⑤ ガキ大将

〔問五〕本文中における「道路」の説明として適切でないものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 「原っぱ」と異なり地域空間との連続性はなかった。
- ② 「原っぱ」と同じく空間同士の境界は曖昧なままであった。
- ③ 一つの空間でありつつ多くの機能を有していた。
- ④ 路地裏では子どもたちはくつろいだり、外遊びを行ったりしていた。
- ⑤ 路地裏は子どもたちにとって交流や文化現象の発生源でもあった。

〔問六〕本文の主旨としてもっとも適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 当時の子どもたちの遊び空間は都市部にはなく地方でのみ存在していた。
- ② 子どもたちにとって、「原っぱ」はたまり場とはなりえなかったといえる。
- ③ 一見すると何もない空間である「原っぱ」であっても、子どもが存在すれば有意義なものとなる。
- ④ 当時の子どもたちのかかわりに闘争や緊張はなく常に調和的であった。
- ⑤ 子どもたちにとって、かつての「原っぱ」や「道路」が人生経験において重要であった。

【二】 次の文章を読んで、後の問（問一〜八）に答えなさい。

個人の能力と権利が拡大した社会は、多様性を殺す。好きにやっていいと言われると、みんな同じになる。社会の制度設計はより公平になり、透明性が上がった。技術的にもインターネットとその上で展開されるアプリケーションが、社会の透明性を上げ、可視化した。たとえば、SNSは友だち関係を身も蓋もなく可視化した。それで何が起こったか。SNSにアップする写真が寂しくならないように、誕生日や記念日に、友だちとして振る舞って写真に収まる代行業が出現した。フランチャイズ店での客あしらいは、偏執狂的なまでに平準化された。サービスの手順や品質には、当然店舗ごとにぶれがある。以前は隔たった距離がそれを隠蔽^(a)し、誰の目にも触れず、問題にもならなかった。しかし、可視化された社会では、それが不公平だとネット上にアップされ、事案になる⁽¹⁾。

民主主義は登場した頃、たいそうなものではなかった。一〇〇人いれば一〇〇通りの意見があるのは当たり前だ。
A。多数決に五一人が投じたならば四九人は我慢しよう、が本質である。無慈悲な専制君主が支配するよりはよ⁽¹⁾ほどいい政体であるが、完璧ということはない。ところが、個人主義が隅々まで行き渡り、社会の可視化も結びつくと、人々は満場一致を求めようになってしまった。多数決で採用されなかった四九人の意見も、できるだけ尊重しなければならぬ。少数意見も大事にしなければ、民主主義は単に票を読み、集めるゲームになってしまう。だから、少数の権利を守るのは正しい。

だが、その正しさを閾値⁽⁷⁾を超えて追求すると、個人の権利と自意識は際限なく肥大化する。だれか一人が「気に入らない」と声を荒らげれば、その声をぶつけられた人は必ず対応しなければならなくなる。すべての行いとやり取りは可視化され、他の人と比べて自分がいかに我慢しているか、平等になっていないかが明白になる。声を上げれば権利が守られる、場合によっては拡大するのであれば、どんなに些細なことでも声を上げるのは合理的な行動である。その機会を失うわけにもいかない。

とても運のいいことに、社会は生活の可視化を望んでいて、IOTなどの技術がそれに呼応することで、今後もどんどん人々の行いは丸裸になっていく。情報技術を利用することで、自分より得をしている人が居ないか⁽²⁾昼夜を問わず監視し、見つけたらコミュニティにその情報を拡散して、同じ待遇を求めたり、得をしていた人たちを懲らしめることができる。

この状況は、何をするにもコミュニティの中はもちろんのこと、世界の視線を意識しなければならぬことを意味する。美少女ゲームのテーマも、アイドルの衣装も「せまいコミュニティ向けに設計された商品だから」と、その内側だけに気を取られていると、別の国家から、別の文化から批判される。すべての行いが多くの人の視線にさらされ、批判され、その行いが改善されていくことは、人がよりよくなるために必要なことかもしれない。しかし、^(b)緩衝材としての地域やコミュニティや家族が崩壊したいま、すべての個人がそれを引き受けるのは明らかに重荷だ。批判されることが仕事のうちの為政者や言論人はいいが、市井で静かに暮らしたい人まで⁽³⁾それだけのコミュニケーションコストを支払うことになるのは、短期的には社会の効率を悪くし、⁽³⁾長期的には人の精神を荒んだものに変えていくだろう。

(岡嶋裕史『インターネットというリアル』より。一部改変有り。)

〔問一〕 傍線——部(ア)～(エ)の言い換えとしてもっとも適切なものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びな
よ。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|--------|---|--------|---|--------|---|------|---|------|---|-------|
| (ア) | 身も蓋もなく | ① | 元も子もなく | ② | 中身を伴わず | ③ | 露骨に | ④ | 形式的に | ⑤ | 遠まわしに |
| (イ) | 無慈悲な | ① | 悩みのない | ② | 平和な | ③ | 一匹狼な | ④ | 非情な | ⑤ | 強権的な |
| (ウ) | 閾値 | ① | 許容範囲 | ② | 平均点 | ③ | 行動範囲 | ④ | 目標値 | ⑤ | 経験値 |
| (エ) | 合理的な | ① | 短絡的な | ② | 稀有な | ③ | 妥当な | ④ | 狡猾な | ⑤ | 楽観的な |

〔問二〕 波線~~~~部(a)・(b)の熟語の構成と同じものを、次の各群の①～⑤の中からそれぞれ一つずつ選びなさい。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|----|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| (a) | 隠蔽 | ① | 往復 | ② | 再会 | ③ | 未定 | ④ | 崩壊 | ⑤ | 矛盾 |
| (b) | 緩衝 | ① | 出発 | ② | 読書 | ③ | 予知 | ④ | 頭痛 | ⑤ | 抑揚 |

〔問三〕 傍線——部(1)「事案になる」の対象としてもっとも適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- | | | | |
|---|---------|---|---------------|
| ① | 社会の制度設計 | ② | サービスの手順や品質のぶれ |
| ③ | 代行業 | ④ | SNS |
| ⑤ | 民主主義 | | |

〔問四〕

空欄

A

に入るもっとも適切な文を、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① どうせなら意見を一致させた方がいい
- ② どうせ意見など無いに等しい
- ③ いずれにせよ意見は一致するだろう
- ④ いずれ意見が一致しないはずがない
- ⑤ どうせ意見など一致するはずがない

〔問五〕

傍線——部(2)「昼夜を問わず監視し」の言い換えとしてもっとも適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 朝以外の時間帯は警戒し
- ② 断続的にチェックし
- ③ 時間があるときに見守り
- ④ ひとときも離れずそばにいて
- ⑤ 四六時中モニタリングし

〔問六〕

傍線——部(3)「人の精神を荒んだものに変えていく」のはなぜか。その理由としてもっとも適切なものを、次の

①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① すべての行いに対して仲間内の視線を意識して生活しなければならないから。
- ② 日本のゲームやアイドル文化は世界中から注目されているため、その良さを常に表明しなければならないから。
- ③ すべての行いがローカルにもグローバルにも可視化・批判され、それに対する説明を行わなければならないから。
- ④ 政治や言論を本業とする人々であっても、すべての批判に反論し、改善を要求することは心労になるから。
- ⑤ すべての行いが地域コミュニティや家族に対して筒抜けになっており、プライバシーがないから。

〔問七〕

本文から読み取れる、少数の権利を守ることに對する筆者の考えとしてもっとも適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 少数の権利を守ることはたしかに大事であるが、そのすべてに対応することは現実的に困難である。
- ② 少数の権利を守ることはたしかに正しいため、あがった声には可能な限り対応すべきである。
- ③ 少数の権利を守ることはたしかに大事であるが、少数派の人々が声をあげることがまずないだろう。
- ④ 少数の権利を守ることは正しいのだから、人々はその権利を常に主張していくべきである。
- ⑤ 少数の権利を守ることはたしかに大事であるが、独断で権利の有無が決められることも重要である。

〔問八〕 本文の内容と合致しないものを、次の①～⑤の中から一つ選びなさい。

- ① 公平で透明性が高い社会では、結果として監視化が進行し常に見られることを意識するようになる。
- ② 可視化された社会では、これまで人々が知りえなかった事柄が問題化するようになった。
- ③ 個人主義化された社会では、個人の主張や権利が増える反面すべての行いに対して個人が責任を負うことになる。
- ④ 公平で透明性が高い社会では、個人の能力と権利がこれまで以上に拡大したことで、人々の一元化が阻止される。
- ⑤ 公平で透明性が高い社会では、これまで以上に個人のコミュニケーションコストが高くなり、社会はかえって非効率になる。

【解答例】

入試年度 : 2024
入試種別 : 学校推薦型選抜(公募)
II 期
科目 : 基礎学力調査

〈国語〉

問No.	解答番号
1	2
2	5
3	1
4	4
5	1
6	3
7	3
8	2
9	1
10	4
11	2
12	5
13	3
14	4
15	1
16	3
17	4
18	2
19	2
20	5
21	5
22	3
23	1
24	4